

ZETA

Smart Building Project

ZETA スマートビルディングプロジェクト

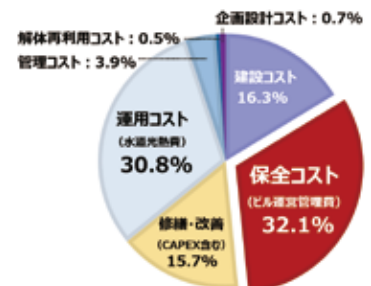
概要

「ビルメンテナンスの課題は、

メンテナンスのコストに占める人手の割合が高いという点である。」

大規模ビルを管理するためには、多数の人員と多くの労力が必要となり、その結果、コストが膨大になります。昨今、ビルを利用する「人の健康」視点を加えた国際基準である「WELL認証」が注目されており、今後、認証取得に向け、IoT技術を用いたセンサーネットワークによる処理の自動化などの取り組みが加速すると考えられています。

ビルコスト(トータルライフサイクルコスト)の構成



(出典) 社団法人日本ビルヂング協会

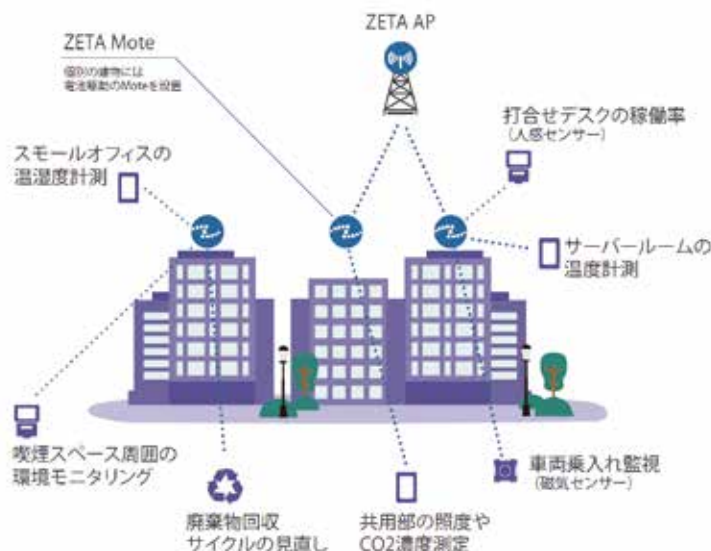
特長

ZETAは、電池駆動の中継器を用いたマルチホップ通信が使えるため、屋上から地下までの大規模ビルのメンテナンス用ネットワークを実現するのに適しています。

ビル屋上の冷却塔、エレベーターシャフト、機械室、地下駐車場などに、10種類以上のセンサを設置し、オンデマンド対応が可能な遠隔監視を実現します。



設備	センサ
配管	漏水センサ
温度	温度センサ
照明管理	照度センサ
各種モーター	振動センサ
電気設備	電流センサ
セキュリティ	人感センサ・ドアセンサ
各種タンク	水位センサ



【スマートビル導入事例】

上海マリオットホテル

階数: 33階
 基地局数: 1台
 中継器数: 4台
 センサ数: 80個

JLL スマートビル

階数: 26階 × 4棟
 基地局数: 1台
 中継器数: 2台
 センサ数: 100個
 (600個を予定)

SOHO Q3 SQUARE OFFICE

階数: 3階(B1-B3)
 基地局数: 1台
 中継器数: 1台
 センサ数: 50個